

「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」の概要について

(我が国における旅行消費の経済波及効果)

調査の目的

本調査は、2000年度に国土交通省観光部が実施した「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に引き続き実施された調査であり、既存のデータ及び年3回の旅行消費アンケート調査により、2001年の我が国の旅行消費額と、それがもたらす経済波及効果を推計することを目的とする。

調査の方法

まず観光白書作成のための基礎調査等の既存のデータを基に、一人1回あたりの旅行消費額を推計した。さらに、この旅行消費額を産業連関表の産業部門に分けるため、また、旅行前後消費額の推計を行うため、「旅行消費アンケート調査」を実施し、この結果により旅行消費細目の構成比を算出した。これを元に産業連関表を用いて旅行消費の我が国経済への波及効果を推計した。

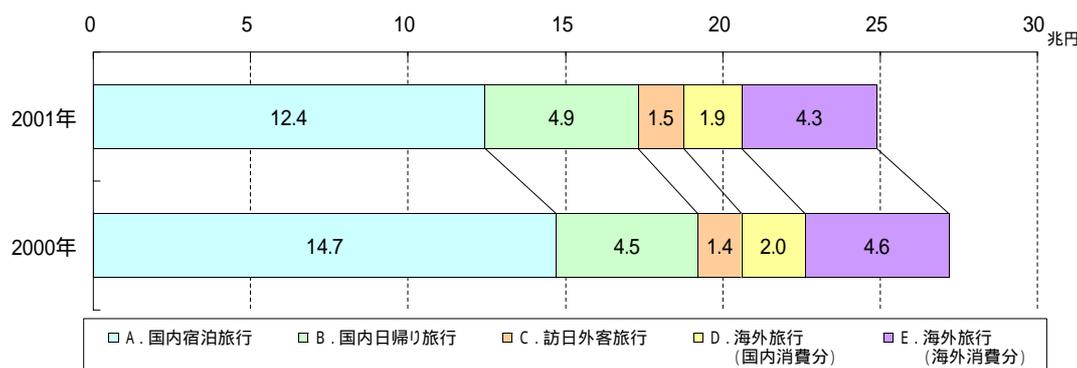
全国100地点の層化2段無作為抽出による年3回の全国アンケート調査。配布数各回2,000票。

2001年の旅行消費額は減少

2001年の旅行消費額は20.6兆円と推計され、前年(2000年)調査と比較して8.8%減となった。なお、海外旅行消費額の海外支出分は4.3兆円であり、国民の旅行消費額は23.5兆円(9.1%減)である。

2001年 我が国の旅行消費額 推計結果 (単位:兆円)

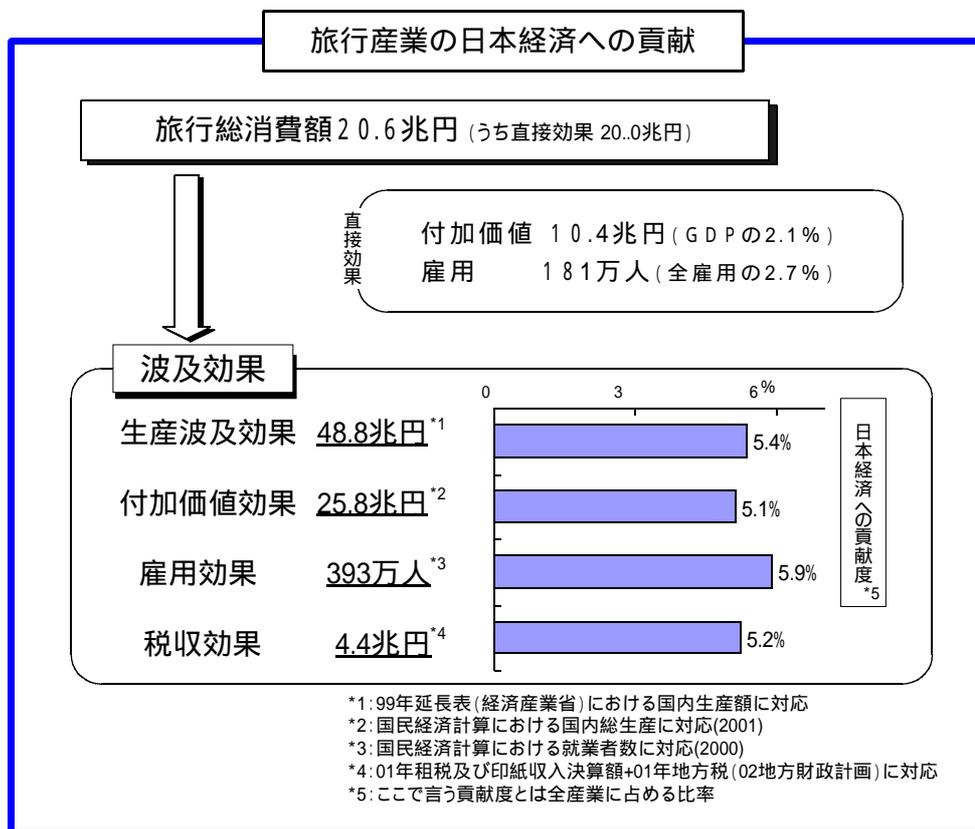
	2001年	参考:2000年	01/00率
a. 国内宿泊旅行消費額	12.4	14.7	15.6 %
b. 国内日帰り旅行消費額	4.9	4.5	8.8 %
c. 海外旅行消費額(国内分)	1.9	2.0	8.0 %
d.(=a+b+c) 国民の国内旅行消費額計	19.2	21.2	9.7 %
e. 訪日外客旅行消費額	1.5	1.4	6.2 %
f.(=d+e) 国内旅行消費額計	20.6	22.6	8.8 %
g. 海外旅行消費額(海外分)	4.3	4.6	6.2 %
h.(=d+g) 国民の旅行消費額計	23.5	25.8	9.1 %
i.(=f+g) 総旅行消費額[参考値]	24.9	27.2	8.3 %



我が国の経済への貢献（経済波及効果）

旅行消費による生産波及効果 48.8 兆円は、「1999 年度産業連関表延長表」（経済産業省）の国内生産額 906 兆円の 5.4 % にあたり、付加価値効果 25.8 兆円は 2001 年暦年名目 GDP 506 兆円の 5.1 % に相当する。

また、雇用効果 393 万人は、2000 年の就業者数 6,661 万人（「国民経済計算年報」（内閣府））の 5.9 % を占めている。税収効果は 4.4 兆円と試算され、この額は 2001 年度税収（国税 + 地方税）85.5 兆円の 5.2 % に相当する。



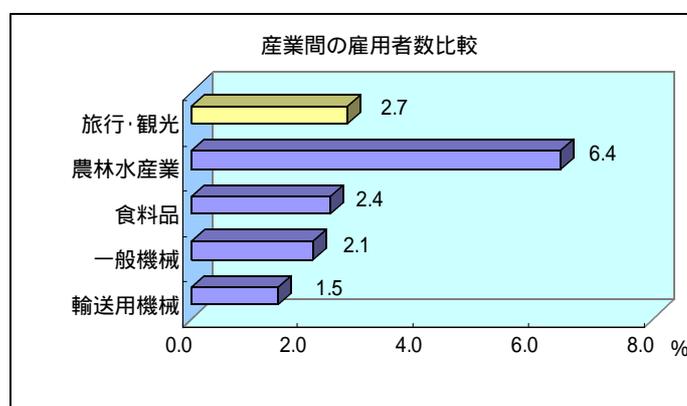
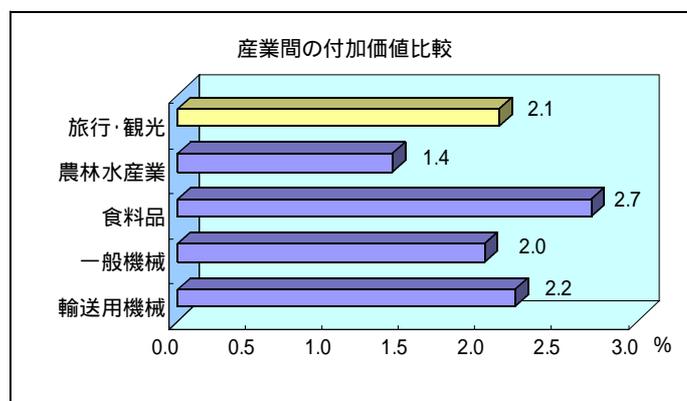
2001年旅行市場の概況

2001年の旅行消費額は 8.8 % の減少となった。これは、長引く景気低迷の影響を受け、個人旅行の手控え、旅行費用の減少、企業の出張費の削減などがあったためと思われる。さらに、昨年 9 月 11 日に発生した米国同時多発テロは、海外旅行者数の減少から関連国内消費を減少させたこと等により、2001年の旅行市場の縮小をもたらしたと思われる。

(参考)

旅行・観光産業の付加価値・雇用者数の他産業との比較

旅行・観光産業の付加価値 10.4 兆円は、GDP の 2.1 % を占める。また、旅行・観光産業の雇用者数 181 万人は、総雇用者数の 2.7 % を占めている。



外客消費比率の国際比較

我が国の旅行・観光産業が低位にある一因は、諸外国に比べて低水準にある外客消費比率である。しかしながら、訪日外国人数は 1995 年以降、増加傾向にあり、物価水準の低下も外客増加を後押ししている。

